

# 最近の雇用情勢について

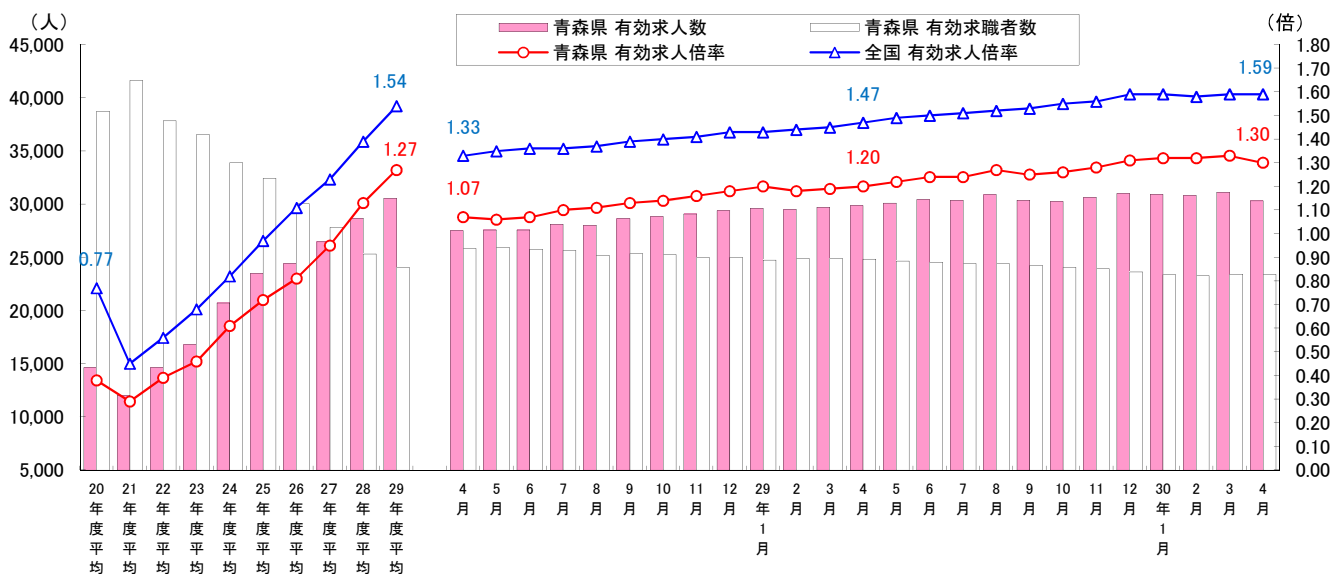
(平成30年 4月)

青森労働局

## I 求人・求職・受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

4月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ2.6%減少し30,299人、有効求職者数(同)は0.1%減少の23,377人で、有効求人倍率(同)は1.30倍となり、前月より0.03ポイント低下した。  
就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は1.40倍となり、前月を0.03ポイント下回り、受理地別の倍率を0.1ポイント上回った。

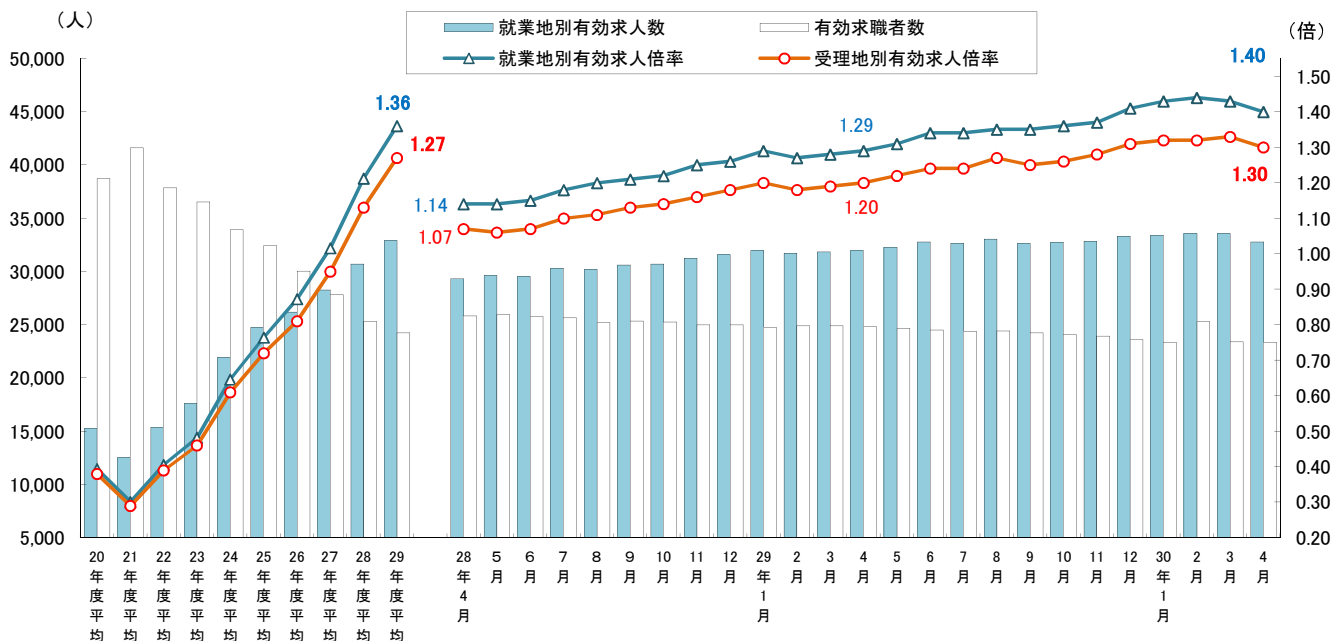
### 受理地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

### 【参考指標】

### 就業地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



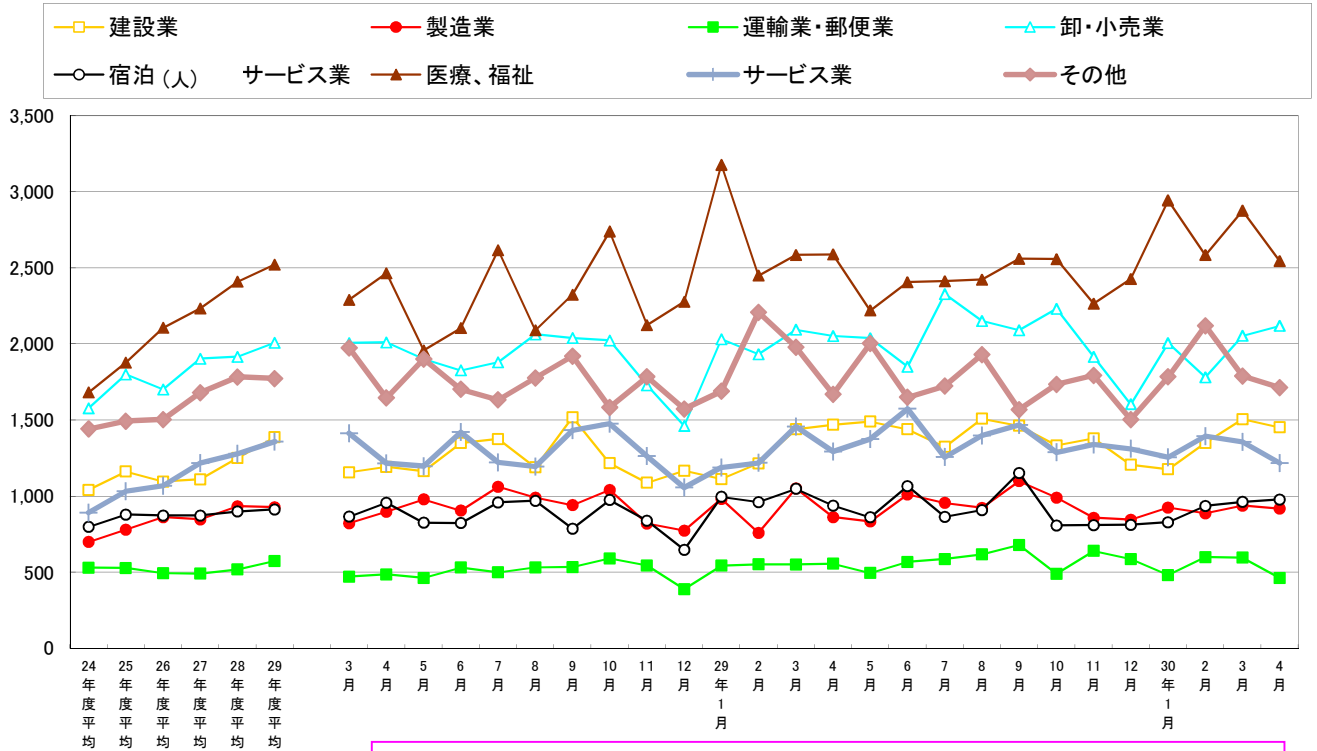
全国のハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。  
季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。  
就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成29年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

## II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

4月の新規求人数(原数値)は前年同月比0.2% (25人) 減少の11,406人。

産業別で前年同月と比較すると、製造業、卸売・小売業、宿泊業、飲食サービス業等で増加し、建設業、運輸業、郵便業、医療、福祉、サービス業等で減少した。製造業では、繊維工業、木材・木製品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、電気機械器具製造業で増加したが、食品製造業、印刷・同関連業、輸送用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業等で減少した。



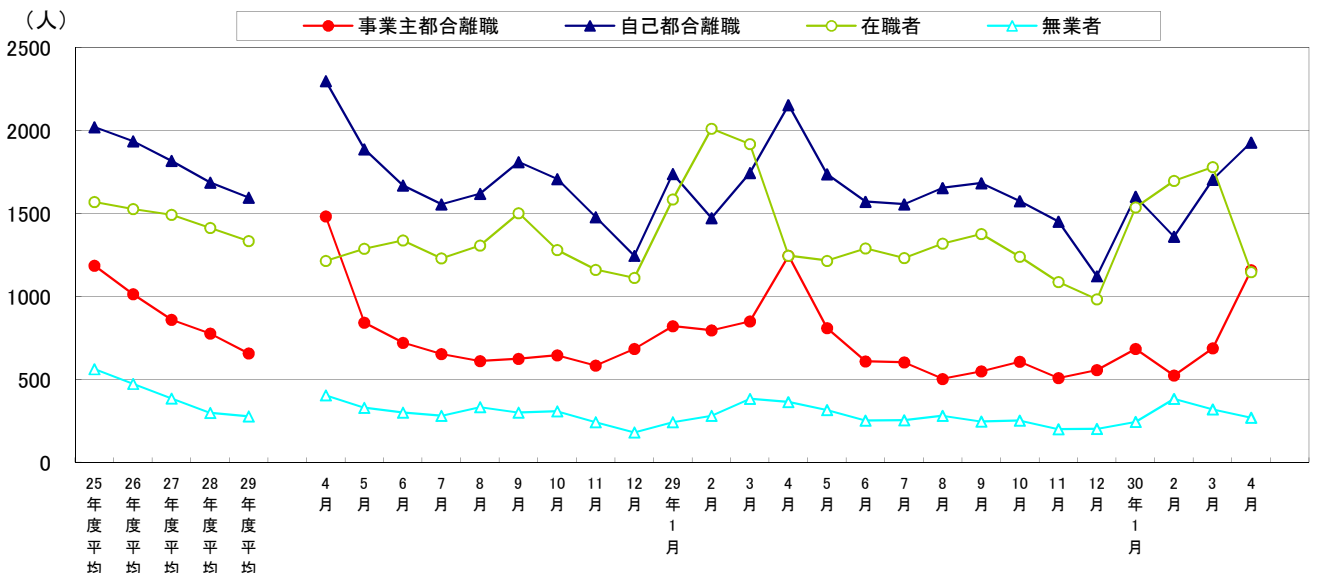
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産・物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

## III 新規求職の状況(パートを除く常用)

4月の新規求職者数(原数値)は、前年同月比9.9% (516人)減少の4,715人。

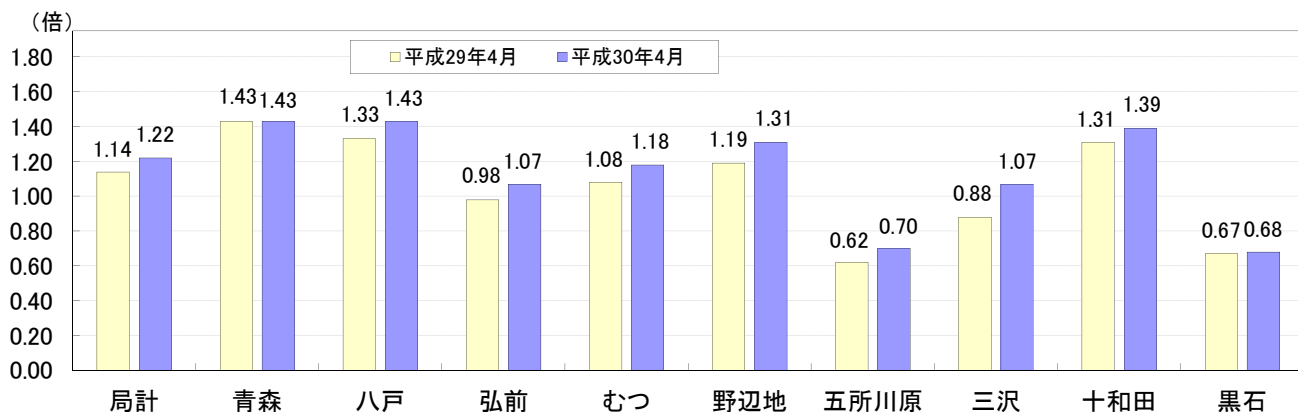
求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は8.0% (99人)減少し、離職者は8.9% (322人) 減少、無業者は26.1% (95人) の減少となった。

離職理由でみると、事業主都合は6.9% (86人) の減少、自己都合は10.5% (226人) の減少となった。



#### IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

4月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.22倍となり、前年同月を0.08ポイント上回った。  
各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

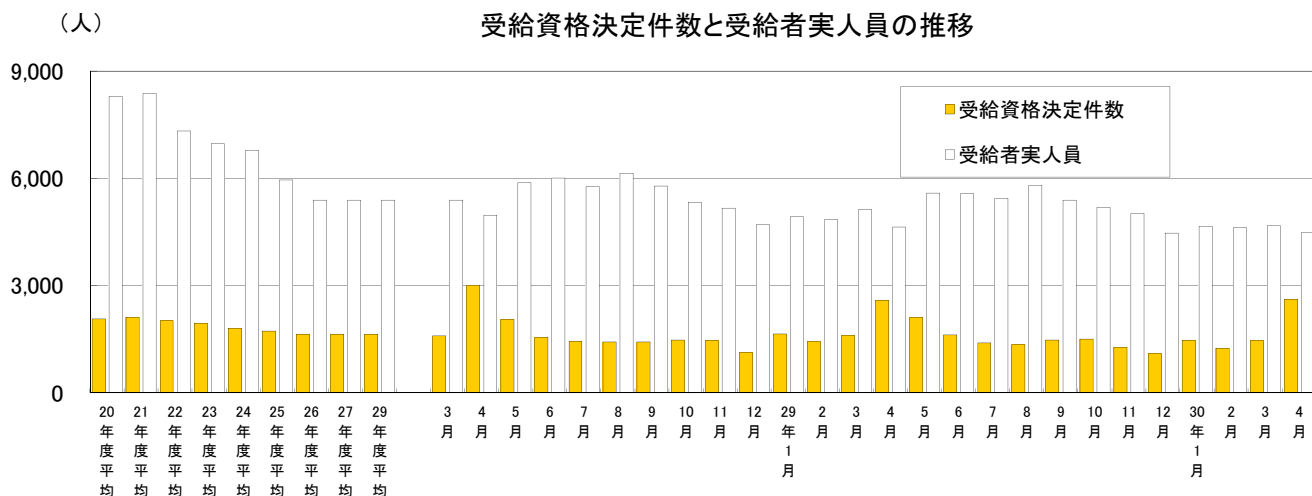


	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	25,107	6,559	5,675	4,557	1,243	889	2,391	1,313	1,156	1,324
有効求人数	30,611	9,389	8,105	4,896	1,461	1,165	1,676	1,407	1,608	904

#### V 雇用保険の状況

4月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比3.3%(154人)減少、前月比では4.1%(191人)減少の4,485人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月1.0%(27件)増加、前月よりも79.3%(1,155件)増加し2,611件となった。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比11.6%(64人)減少、前月比20.5%(83人)増加し487人となった。



#### 事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

